



## ご自身の目と耳と心で…



本番が近づくとつれて、練習に熱がこもってきました。立北小「笑顔いっぱいプロジェクト」5月のテーマは「おもしろいとチームワーク」でした。子どもたちは、しんどいお友達にやさしく声をかけてくれながら、体育大会に向かってきました。チームワークを大切に、一人では決してできない感動を味わってほしいと願っています。



さて、私事ですが、体育大会と言えば、苦い思い出があります。以前、わが子の運動会でビデオ係を任されていた私は、当日、おどる娘を必死で撮影しました。ところがその晩の上映会でのことです。「いつになったら私が出てくるの？」と娘が呟きました。私は、背格好がそっくりなお友だちを必死で追っていたのです。今から二十年近くも前のことですが、このときの気まずい空気と悲しい気持ちは今でも忘れることができません。次の年からわが家では、ビデオ撮影をやめることにしました。やめてみて驚いたこと、それは、自分の目でしっかり見ると、それまで液晶画面越しに見ていた時に比べ、こんなにも感動できるのかということです。わが子だけでなく周りのお子さんの動きや全体の様子もよくわかり、夕食時には、子どもたちの話に花が咲きました。

もしよろしければ、ぜひカメラを横において、ご自身の目と耳と心で生の子どもたちの姿を直に受け止めていただくことをお勧めします。そして、その場で大きな拍手を返していただければ、きっと子どもたちの感動も達成感も何倍にも何十倍にも大きく膨らむことでしょう。今年は入場制限がなくなります。子どもたちの頑張りに大きな声援と大きな拍手をどうぞよろしくお願いいたします。

## ～6月のテーマは「公共心」と「良心」～

例年より 10 日も早い梅雨入りだそうです。元気いっぱいの立北小の子どもたちにとっては、なんとも辛抱の日々が続きます。でも「ピンチはチャンス！」こんな季節だからこそ、自分だけでなくみんなが気持ちよく過ごせるよう互いの気持ちを考えて行動する力をつけてほしいと思います。上級生はよい過ごし方の手本を下級生に示してくれるとうれしいです。また、まわりを見て自分の行動を決めるのではなく、よいと思ったことはすすんで行動にあらわせるのは素晴らしいことですね。

季節が進み、地域の方々が大事に育ててこられた紫陽花がきれいに色づき始めました。今年は久しぶりの『あじさい祭り』が6月10日と11日上ノ島西公園で開かれるそうです。

